

授業科目 フィジカルアセスメントPBLテュートリアル

【担当教員名】 本間千代子 他	対象学年	1	対象学科	看護学科
	開講時期	通年	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

看護に必要な情報を収集するための身体面、心理面、社会背景の観察技術とメカニズムを理解し人間の日常生活や健康状態を評価するまでの過程を学ぶ

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. バイタルサインの測定ができる
2. 看護面接の基本情報の聞き取りができる
3. 頭部・喉・眼・脳神経の基本的観察と情報収集ができる
4. 胸部・呼吸器系の観察と情報収集ができる
5. 腹部（生殖器を含む）の観察と情報収集ができる
6. 骨筋系・知覚・腱反射の観察と情報収集ができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	4週間を1ユニットとし6ユニットおこなう 自己学習とグループによる学習、週1回テュータがついた授業を行いながら4週間を1ユニットとしたものを6つの課題を通年で6ユニット実施する PBLテュートリアル、オリエンテーションを受け、学習方法、学習計画、運営の仕方を理解し実施していけるようにする 1. バイタルサイン 2. 看護面接 3. 頭部・眼・喉・脳神経 4. 胸部 呼吸 5. 腹部（生殖器を含む） 6. 骨筋系 知覚 上記6つの課題を実施し観察、情報の収集ができる 自ら調べそれをメンバーに発表する、またメンバーの調べたものを理解する。 共同学習をすることで対人関係を良好に計ることが出来るようになる		オリエンテーション 学生個人による自己学習 学生グループによる自己学習 教員が技術のモデルを示す 技術演習 ビデオによる事前の自己学習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	「フィジカル・アセスメント完全ガイド」藤村郁 学習研究社 2001 3900円			
参考書	「フィジカル・アセスメント」小野田千枝子監修 金原出版 1999			
その他の資料	系統看護学講座 専門基礎Ⅰ 解剖生理学 医学書院			
【評価方法】 出席参加は必須 ユニット終了時の課題の提出 技術テストと試験		【履修上の留意点】 主体的に調べ学ぶ学習です、小グループ学習のため積極的な態度と出席は必須です、メンバーの一員として力を発揮してください。		